

第1回 青嵐中学校 学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年5月16日 10:00～

開催場所：青嵐中学校視聴覚室

出席委員：今井文男 木村俊二 西原みどり 有本唯 高田進 尾藤一朗 ギログリー江美
石丸昌延 加糠里香 湯浅泰美
(事務局) 佐久間豊 小美野祐輔 西澤大祐

議事

1. 校長あいさつ 青嵐中学校 湯浅泰美

本校は活気あふれる学校を目指しています。協議会のメンバーも新たに加わっていただいた方もいらっしゃいます。活気ある話し合いをお願いいたします。

2. 委員委嘱

委員委嘱状について

3. 委員自己紹介

今井文男	東京学芸大学教職大学院特任教授
木村俊二	前西東京市教育委員会教育長
西原みどり	地域コーディネーター（わくわく自習室・ブックカフェの紹介）
有本唯	下保谷駐在所 警視庁巡査部長
高田進	荒屋敷自治会会長
尾藤一朗	西東京市青嵐中学校同窓会幹事
ギログリー江美	地域協力者
石丸昌延	東京都立保谷高等学校長
加糠里香	西東京市立青嵐中学校 PTA 会長

委員長に今井様、副委員長に木村様を選出。

今井様「いただきます」「ごちそうさま」というのは日本だけ。いい場所となるように引き続き、お願いいたします。

CSの3つの役割は次のとおりです。

1つ目は学校経営方針の承認。

2つ目は学校運営に意見を述べるができる。

3つ目は教職員の人事について意見を述べるができる。

4. 学校経営方針について 青嵐中学校 湯浅泰美

学校経営計画の説明。教育ビジョンを踏まえて、「基礎学力・体力を充実し、たくましく生き抜く素養」と「ルールを守り豊かに生きる素養」を重点方策とする。

社会人基礎力として、国際理解協力に力を入れていく。

健康体力づくりとして、体育健康教育の研究を行う。

豊かな心の育成として、体験活動学習を進めていく。来年度の修学旅行は民泊を取り入れる。西東京の農業の後継者問題も視野に入れている。9年度には北海道に行くことを検討している。

心の安定を図るために、特別支援学級との共同学習や交流を進めていく。今年度はブリッジスクールを新設し、不登校対策を行っていく。

西原みどり 自習室を開設していると生徒たちは教え合っている様子がある。自然な様子で男女関係なく教え合いをしている。普段の取り組みが生かされている。

木村俊二 不登校生徒の現状を教えてください。

佐久間豊 不登校生徒は若干名いる。スキップ教室などに通う生徒もいる。外部機関にも行けない生徒がブリッジスクールの対象となる。2年生に対象生徒がいるが、本人も保護者も前向きな姿勢を見せている。

今井文男 中学校からいきなり不登校は少ない。小学校との連携や初期対応が大切。修学旅行の変更、外国人観光客の対応なども必要だと感じる。
OKJの授業スタイルもよい。子どもにはいいことを教えて、できたら褒めて、伸ばすことが大切。

高田進 日本は少子高齢化で下降線を辿っている。先生方が熱意をもって指導してくれると、将来が楽しみになる。先生たちがいきいきとすることを望む。

尾藤一朗 学校のことを信頼している。修学旅行では、京都奈良の伝統文化に触れると保護者は思っている。行き先や、内容の変更は丁寧に説明していく必要があると感じる。

(校長) 修学旅行は、1日目は滋賀に泊まってクルージング、2日目は、わくい町で民泊、3日目は京都の班行動予定。保護者に説明していく。

(委員長) 京都、奈良の混雑具合の状況が一変している。日中は、混雑している。

ギョーリ 謙 修学旅行生のための補助がおりて受け入れてくれれば良い。混雑が影響しているのなら、バス代を改善するなど行きやすい環境になると良い。

OKJは、教わって考える授業（生徒の視点）、教えて考えさせる授業（教員の視点）は、少し違う。名前が少し気になる。

保健室の隣で行うブリッジスクールが良い。他の学校でも導入してほしい。

石丸昌延 教育課題が網羅されている、健康・体力づくりについて、体育の授業が見えてイキイキしていて良かった。経営方針ともリンクしている、ブリッジスクールがすごく良い。高校でも保健室登校を希望している生徒がいる。保健室は1時間までで、教室に戻れない生徒は家に帰るのが高校の現状。とても参考になったが、人材確保が課題。
質問が3点。国際理解教育についてどうすすめていくか。保護者を活用した部活動とはどのような取り組みなのか、人材育成についてどのような取り組みを行っているか聞きたい。

佐久間豊 (質問への回答)
国際理解教育では、英語科を中心として外部団体をお招きして授業を行う予定。部活動は、西東京市で平日4日、休日は1日と決まっている。複数顧問制をとっているので、働き方改革を行っている。また、保護者とも協力体制を保護者会を開いて図っている。人材育成は、若手教員も増えているので、主幹・主任を中心に空き時間でOJTを行ったり、メンター（困っていたら相談にのる）も行っている。

校長 部活動は複数顧問、分掌も複数で役割分担で人材育成を行っている。

石丸昌延 国際理解教育を学ぶうえで、自分の国についてしっかり学んでおかないといけない。そのために、漫画を図書室に導入していく方針。

加糠里香 PTAの中でも、部活動の顧問について、先生方の負担が大きいので外部指導員を入れたほうが良いという意見が出たが、人材確保ができていない。不登校生徒への対応がすごく良い。ブックカフェが好評。

5. 昨年度のCS実績報告

佐久間豊 子どもを笑顔にするプロジェクトで&TEAMが来校。
平和学習で講話をしていただく。
都立高校の入試概要について、保谷高校の教員に説明していただいた。
職業講話で、地域人材を活用した。PTAのマジックショー
ブックカフェ、花いっぱい活動、地域のお祭りに参加
避難所運営コンサート、緑化活動、3年生を送る会

6. 年間行事予定

小美野 年間行事予定表を用いて説明

7. 学校と地域の協働活動について

とくになし

8. 質疑応答

佐久間豊 来年度、制服をリニューアルする予定
今後の開催予定について 第3回を10月21日（火）に変更したい。